

下田和男理事長 ご逝去のお知らせ



一般社団法人日本ハンドベル連盟理事長 下田 和男先生が、2023年8月28日、天に召されました。夏期講習会中の8月18日に78歳になられたばかりでした。

下田和男理事長は1983年からハンドベル指導を始められ、その人生のほぼすべてをハンドベルに捧げてこられました。連盟においても1995年以降、長く理事、常務理事、副理事長として精力的にお働きくださり、2017年には日野原重明前理事長の急逝により理事長代行、2018年からは第4代理事長に就任されました。その間、一般社団法人への移行やコロナ禍への対応等、40年以上の連盟の歴史の中でも困難と思われた時代を力強く支えてくださったことには、感謝の念に堪えません。

いつも穏やかでにこやかでありつつ内なる情熱を秘め、確固たる信念を持っていらっしゃいました。そして最後まで、連盟の未来を考えてくださっていた下田和男先生。苦しい闘病生活から解放され、神のみもとで安らかにお過ごしください。今まで本当にありがとうございました。また残されたご遺族の上に天からの大きな慰めがありますようお祈りいたします。

一般社団法人日本ハンドベル連盟

- ・ 下田先生のご葬儀は、8月31日、日本基督教団南町田教会にて執り行われました。「家族で静かに見送りたい」というご遺族のご意向を尊重し、連盟会員の皆様へのご報告が遅れましたこと、なにとぞご了承ください。
- ・ 11月19日の全国フェスティバルの会場で追悼礼拝を行います。どうぞ一緒にお祈りください。

2006年から2017年まで、下田先生と共に常務理事として連盟の活動にご尽力いただいた
森道興理事と大塚安宏監事より、メッセージをいただきました。

静かに皆の話に耳を傾け、あまりご意見を述べられることは無いのですが、時々言われる言葉にいつのまにか、ひとつひとつの議題がスムーズに決定していく。笑顔の中に、ハンドベルを心から愛しておられるお姿に圧倒されていたのかも知れません。

ありがとうございました。

これからは神の国の天使たちとハンドベルを楽しめることでしょう。

森道興

下田和男先生とは30余年によるご友誼・ご指導を頂きました。2006年に常務理事会が設置され、毎月会合を開き、協議を重ねました。日野原重明前理事長を迎えた事、2010年世界大会（大阪）、2016年創立40周年記念アジア大会（仙台）の準備等が大きな思い出です。理事の先生方が表の顔であり、実務をまとめた裏方の副理事長としての手腕は、会員の皆様にはお分かり頂けない部分ですが、身近に居た私には、気配りや労苦が良く分かりました。私個人としては「講師認定制度」の準備、規則制定、実施方法、試験実施、その後の改定等の作業にいつもご指導を頂いた事が最大の思い出であり感謝です。下田理事長、ありがとうございました。

大塚安宏